

	マルチ	AB・X	BK・H	BK・X	EP・X	TXF	水系		
							BO	WP・X	
被塗面との密着性	アルミニウム (生) (※1) 一部合金を除く	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	アルマイト加工品	○	○	○	○	○	○	○	○
	ステンレス ※一部鏡面肌除く ※SUS304・404	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	ガルバリウム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	銅	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○
	スチール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△
	カラートタン (※1)	○	○	○	○	○	○	○	◎
	焼付塗装塗膜 (※1)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	電着塗装塗膜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	フッ素加工品 (※2)	○	○	○	◎	△	○	○	△
	化成皮膜処理物・ボンデ鋼板 (※3)	○	○	○	◎	◎	○	○	◎
	電気亜鉛メッキ (※4) (※5)	○	○	○	◎	◎	○	○	○
	溶解亜鉛メッキ (※4)	○	○	○	○	○	○	△	△
	鉛・真鍮・クロムメッキ	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンクリート・モルタル	○	○	△	○	○	○	○	○
	ポリプロピレン (PP)	○	△	△	△	△	○	○	△
	ポリカーボネイト	○	○	△	△	△	○	○	△
	硬質塩ビ	○	○	△	△	△	○	○	△
	ABS (※6)	○	○	△	△	△	○	○	△
	FRP	○	○	○	○	○	○	○	△
	ポリ化粧板	○	○	△	△	△	○	○	△
	アクリル板	○	○	△	△	△	○	○	△
	メラミン化粧板	○	○	△	△	△	○	○	△
	ガラス・ホーロー	○	○	△	△	△	○	○	△
磁器タイル ※釉薬処理されているものを除く	○	○	△	△	△	○	○	△	
適正な上塗り	1液反応硬化型ウレタン塗料 (弱・強溶剤)	○	○	○	○	○	◎	◎	○
	2液反応硬化型ウレタン塗料 (弱・強溶剤)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2液反応硬化型アクリルウレタン塗料 (弱・強溶剤)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	1液型エポキシ塗料	○	○	△	○	○	○	○	○
	2液反応硬化型エポキシ塗料	○	○	△	◎	◎	○	○	◎
	アクリルラッカー塗料	○	○	△	◎	◎	○	◎	○
	ストレートアクリル塗料	△	△	△	○	△	△	△	△
	反応硬化型水性塗料	○	○	△	○	△	○	○	○
	アクリルエマルジョン	△	△	◎	○	△	△	○	○
	メラミン焼付け塗料 (150℃程度)	○	○	◎	◎	◎	○	△	△
	アクリル焼付け塗料 (180℃程度)	△	△	○	◎	◎	△	△	△
	エポキシ焼付け塗料 (180℃程度)	△	△	○	○	○	△	△	△
	粉体焼付け塗料 (200℃程度)	△	△	△	○	○	△	△	△
	UV塗料	△	△	△	○	△	△	△	△
	アクリルシリコン (※7)	△	△	△	○	△	△	△	△
	合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	△	△	△	○	○	△	△	○
	2液反応硬化型フッ素塗料 (弱・強溶剤)	○	○	△	○	○	○	△	△

表記中の記載内容は、気候や、素材の状態、作業環境等によって変化する可能性があります。
作業中にご参考いただく一資料としてご利用下さい。

※1 被塗面に使用している塗料により異なる為、塗装前にテストが必要

※2 表面のフッ素の除去が必要

※3 ラッカー塗料は厚塗り厳禁

※4 亜鉛処理後、酸化被膜が形成したものに塗装可能

※5 被塗面の処理方法により密着性が異なる可能性

※6 素材の硬度により、溶剤で素材を傷める可能性

※7 お問い合わせください

※アルミニウム合金は一部密着性の弱い物がある為、使用前にお問い合わせください。